



BNE校の校章

BNE校だより



南十字星

2016年度
第6号

クイーンズランド補習授業校
校長 清村幸一

3学期スタート!

10月8日、3学期がスタートしました。始業式の朝、おやじの会の皆さんが後期分の教科書やドリルを事務所から学校まで運んでくださいました。おやじの会の皆さんには、前期分の教科書の仕分けや運搬もしていただきましたし、運動会でも新種目の説明や当日の運営を手伝っていただきました。補習校にとって、まさになくてはならない存在です。本当にありがとうございました。



学級日誌



学級日誌から・・・

今、クラスで「学級日誌」を書いています。小学部低学年は、最初は担任の先生が書いていましたが、最近は子供達の文字が増えてきています。日誌を書くのも学習の一環と考えます。どの学級も、当番として順番に回しているようですが、中学1年生の学級日誌に、先日このような記述がありました。いい内容だったので、ご紹介します。

【8月20日 今日の感想】中1 大竹莉央さん

今日の国語の授業では本の紹介をしました。知っていた本もあったし、題名だけ知っていた本もあったので、聞いていて面白かったです。特に「図書館戦争」は映画にもなったし、読んだことがないので、読んでみたいと思いました。

数学では、ついに方程式に入りました。予想通りとても面白くて、来週の授業がとても楽しみです。両方の式に同じ数を掛けたり、割ったり、足したり、引いたりして数字を消すのが特に面白かったです。

【校長先生に質問】

私は、現地校でテニスをしています。先生の好きなスポーツや得意なスポーツはありますか。

中1の学級日誌には毎回私への質問コーナーがあり、読むのが楽しみです。

今回は、「私は、ソフトボールが大好きです。運動すると汗をかき、そのあとスカッとした気分になります。」と返事しました。

毎週土曜日の授業が充実していて、生徒たちが「来週も楽しみに」してくれる・・・、そんな補習校でありたいと思います。3学期は、補習校祭りなどの行事もありますが、まずは毎回の授業を大切に、そして充実したものにしていきたいと思っています。

3学期もどうぞよろしくお願いいたします。(きよむら)



<3学期の主な予定は、下記の通りです。>

- 10月15日 教員研修、第3回運営委員会
- 10月29日 補習校祭り
- 11月12日 文集原稿締め切り
- 11月26日 入学説明会・授業参観・学校評価
- 12月3日 社会科学習日
- 12月10日 3学期終業式



補習校祭りのご案内



1. 日時 10月29日(土)
2. 時間 11時 ~ 15時
3. 場所 インドロピリー校ホール

今年度は、午前のステージ発表は学校行事として、
午後の模擬店は運営委員会・保護者会主催で実施します。
ステージ発表終了後、いつものように児童生徒のお迎えを
お願いします。昼食後、午後の部に参加となります。

【午前の部 ステージ発表】

<11時~12時30分>

- ・幼稚部 劇「十二支」歌「森のくまさん」
- ・1年生 音「おおきなかぶ」
- ・2年生 手話「手のひらを太陽に」
- ・3年生 詩の朗読「わたしと小鳥とすずと」
- ・4年生 手話コーラス「世界中のこどもたちが」
- ・5年生 暗唱「日本の古典より」
- ・6年生 詩の朗読「せんねんまんねん」
- ・中1年 ダンス「全員で、ダンス・ダンス・ダンス」
- ・全校合唱「花は咲く」



【午後の部】

<13時~14時30分>

生徒の部

- ・中1「ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい」
- ・中2「ゲームショー」「特技紹介コーナー」
- 「ミニボーリング」
- ・中3「人間もぐらたたき」



保護者の部

- ・夏季につき、お弁当以外の食べ物は少ないですが、楽しいお店がたくさん出ます。

プリスペン日本クラブより

- ・習字体験・お茶販売



※ 今年度も午後の部は保護者の管理・見守りで行動することになります。お友達と一緒に行動しても構いませんが、目を離さないでください。また用事があるご家族は、途中でお帰りになっても構いません。

<全校朝会のスピーチから>

【9月17日】中2 吉田航大 君 (2学期末で日本に帰国、元気に頑張っていますか!)

みなさんは、パラリンピックを知っていますか。パラリンピックは、オリンピックと同じ年、同じ場所で体の不自由な人たちが競い合う世界最大のスポーツ大会の一つです。今年はブラジルのリオでオリンピックがあったので、同じリオで今行われている最中です。体の不自由な人たちがどうやってスポーツをするか。例えば、今年は卓球で両腕



のない人が口でラケットを咥えながら戦っている人が注目を集めました。その姿を見て、僕はたとえ体が不自由で大きな困難があったとしても、強い心と必死の努力があればどんなことも達成でき、周りの人に勇気と希望を与えることができるのだなあと感動しました。僕も自分のやりたいことに向かい、必死で努力をし、必ず達成できるような人になりたいです。

【8月20日】中2 平川絢士 君

オリンピックが8月5日に開幕して、明日終わります。日本人選手の活躍が毎日伝えられています。今の所、メダル数は日本が第6位です。金メダルは12個、銀メダルは7個、銅メダルは21個でした。特に素晴らしかったのは団体に金メダルをとった男子体操です。個人総合では内村航平選手が2大会連続の金メダルを取りました。女子卓球団体に銅メダルを取った福原愛選手はこう言いました。「銅という漢字を分解したら、金と同じになります。」どのメダルも素晴らしいと思います。メダルを取った選手にも、取らなかった選手にも拍手を送りたいと思います。「メダルを取った選手にも取らなかった選手にも拍手を送りたい。」の部分がいいですね。オリンピックに出るには、きっと相当の努力が必要だったことでしょう。ですから、結果が出ればもちろん最高ですが、たとえ結果がなくても、何かに一生懸命打ち込むことのすばらしさ、そしてそれに駆ける思いは私達に十分伝わってきます。その姿に私達は感動するのです。



次のオリンピックは4年後、東京で開催されます。その頃、皆さんは何才ですか。どこで何をしているのでしょうかね。プリズベンで見たオリンピック。プリズベンで感じた選手の頑張り、いつまでも宝物にしましょう。

【10月8日】中2 岩崎光一郎 君

みなさんはニュースを見えていますか？ 今週ニュースを見ていたら、日本人の大隅教授がノーベル賞を取ったという話題が出ていました。アナウンサーがなぜこの研究に目をつけたかを聞いたところ、大隅教授は、「人のやらないことをやるのが好きなんです」とおっしゃっていました。これはすごく勇気のあることだと思います。なぜかというと、人とちがうことをすると周りの人に変わり者だと思われたりバカにされるリスクがあるからです。大隅教授はこのリスクを無視して研究を続けました。その結果、大隅教授は日本で25人目のノーベル賞受賞者となりました。ぼくもいつかこういう勇気を持ちたいと思います。



【10月15日】中2 佐藤マヤさん

皆さんはグレーハウンドと聞いて何を思い浮かべますか。グレーハウンドレーシングで人間のために一生懸命走って怖い顔になっている犬を思い浮かべる人もいるでしょう。しかし、本当はとても優しい、可愛い犬なのです。

グレーハウンドは古代エジプトから存在する犬種で、とても足が速い犬なのです。ニュースなどで、ひどいオーナーの元でレースをさせられている子や悪い環境で生活させられているグレーハウンドたちを見ると心が痛みます。最近、NSWではグレーハウンドレーシングが禁止となりましたが、やはり条件付きで開催されることになったようです。私は少しでもその条件がグレーハウンド達にとって良いものであることを心から願っています。私たちは今年の2月にグレーハウンドの女の子を引き取りました。他の犬とは全く変わらずとても良いペットで、とても優しい性格です。グレーハウンドも犬によってみんな様々な性格の子がいます。私がうちで飼っているグレーハウンドのように一日中寝ている子もいれば、運動が大好きな子もいます。犬の本でも、グレーハウンドは運動がたくさん必要だと書いてあ



りますが、実はそんなにいりません。つまり、私の家族のように忙しい家庭でも飼うことができる犬種なのです。レースを引退した犬たちはみんな幸せにしてくれる家族を待っています。引退した犬たちは「グレーハウンドアダプションプログラム」というところから引き取ることができます。他にも犬だけではなく、他の動物も「PSPCA」から引き取ってもらうことを待っています。みなさんもペットショップで動物を買う前に少し考えてみてください。もしかしたら一匹のグレーハウンドまたは他の犬や猫を救うことができるかもしれません。これで私の話は終わります。